

経営比較分析表

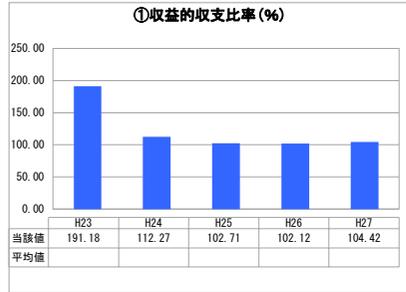
埼玉県 鳩山町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	
法非適用	下水道事業	特定地域生活排水処理	K3	
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20 [※] 当たり家産料金(円)
-	該当数値なし	3.86	100.00	2,500

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
14,389	25.73	559.23
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
552	22.73	24.29

グラフ凡例
■ 当該団体値(当該値)
— 類似団体平均値(平均値)
【】 平成27年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



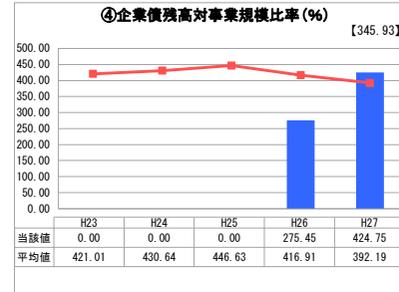
「単年度の収支」



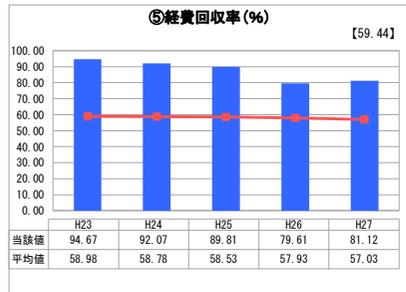
「累積欠損」



「支払能力」



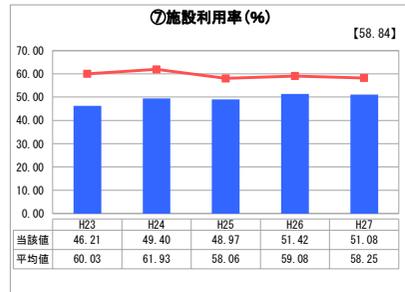
「債務残高」



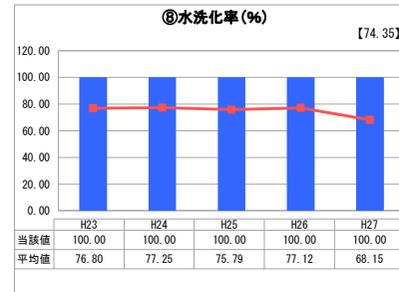
「料金水準の適切性」



「費用の効率性」



「施設の効率性」

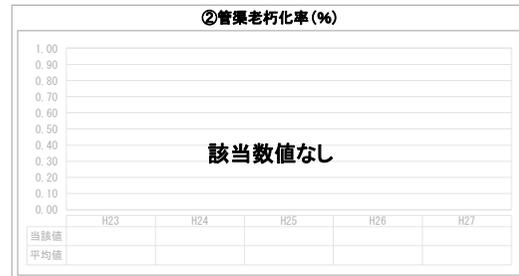


「使用料対象の捕捉」

2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「管渠の経年化の状況」



「管渠の更新投資・老朽化対策の実施状況」

分析概

1. 経営の健全性・効率性について

- ①収益的収支比率が100%を超えていることから黒字であり安定している。今後、更に収益的収支比率が高まるよう費用削減をはかり健全運営に努めていくこととする。
- ②企業債残高対事業規模比率は、企業債の返済が平成26年度から始まった。
- ③経費回収率は、100%を満たしていないが、類似団体平均値を上回っている。下水道使用料と合わせた微収業務委託契約しており、使用料定額のため安定した経費回収が出来ていることから良好であるといえる。
- ④汚水処理原価は、受益者が清掃及び収集運搬料を負担することとしているので類似団体平均よりも下回っており効率的な汚水処理が実施されているといえる。
- ⑤施設利用率は、汚水の処理能力のうちどの程度使っているかを示す指標で類似団体よりやや下回っている。
- ⑥水洗化率は、類似団体よりも高い状態である。今後もこれ維持して行きたい。

2. 老朽化の状況について

平成19年度より町設置型合併処理浄化槽の設置・管理をしているため、現状では、施設も新しいことから老朽化の心配はなく、年に4回定期点検と年に1回法定点検、年に1回浄化槽汚泥清掃を実施していることから浄化槽施設の長寿命化もはかれるものとする。

全体総括

収益的収支比率も100%を維持していることから良好であり、平成19年度から現在まで、町型浄化槽整備事業を開始してから町が設置し管理を実施していることから、施設の長寿命化もはかれるものとする。今後、更なる費用削減に努め、引き続き財政の健全化と維持向上にむけて事業を実施していくこととする。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。

※ 平成23年度から平成25年度における各指標の類似団体平均値は、当時の事業数を基に算出していますが、企業債残高対事業規模比率及び管渠改善率については、平成26年度の事業数を基に類似団体平均値を算出しています。